

## Q: ふるさと納税の返礼品競争への懸念について

A: 返礼品の拡充・組合せ等の検討、創意工夫し、現在の規模の維持に取り組んでまいります。

吉田雅範議員



### 大塔町の復旧・復興について

**吉田** 五條市バイオマス構想の一貫として、木質チップ生産施設整備事業は必要であると考えているが、今後の取組について尋ねる。

**大塔支所長** (仮称) 木質チップ生産施設はデイサービスセンター解体跡地の建設予定で、林業活性化また災害防除につながるが期待される重要施策と認識している。国の補助金が不採択となったため、追加要望の交渉を行うなど前向きに取り組んでまいりたい。

**吉田** デイサービスセンター跡地にこだわることなく事業を推進し、同じ場所にストックヤードを設置できるように検討するなどして整備場所の選定をお願いする。

### ふるさと納税について

**吉田** 納税受入額と品目は、**市長公室長** 平成28年度は

5,200件、5,505

万円で、返礼品の内容は柿・桃などの果樹やジビエなど五條市の特産品22品種・76品目となっている。

**吉田** 総務省では返礼品競争の過熱への懸念があるが、五條市のスタンスは、

**市長公室長** 返礼品の拡充や組合せ等を検討し、創意工夫を図り現在の規模を維持するよう取り組んでまいりたい。

**吉田** ふるさと納税の用途、充当事業について尋ねる。

**市長公室長** 充当事業を特定した寄付の受付は行っていないが、寄付者自らが医療・福祉・環境保全に関する事業等6分野から指定が可能で、平成28年度は主に

「地域包括ケアシステム推進事業」、「防犯灯新設・修繕補助金」、「災害対策用備品購入事業」、「読書活動活性化事業」、「吉野川祭り補助金」に充当して

いる。

寄付金の充当事業については五條市ホームページに掲載し周知を図っている。

**吉田** ふるさと納税の制度の趣旨から離れないよう調整し、納税いただく方に事業内容を分かりやすくすることで納税の増加につながると考えるので今後もよろしく願います。



### 公共交通網の維持について

**吉田** タクシー荷物運送解禁によるデマンドタクシーの今後の取扱について、公共交通網の維持が困難な中山間地や過疎地での貨客混載サービスが9月1日から解禁されているが、事業者がサービス提供をするには

申請が必要で、手続きには1から3箇月掛かるとされている。五條市は対象地域なのか尋ねる。

**市長公室長** 本制度の対象地域は人口3万人未満の過疎地域とされているため対象外となっている。

市内の運送業者等において実施の意向がある場合は、同様の状況にある近隣自治体と協力し国へ要望し、運行受託事業者が希望する場合は、通常運行の支障のない範囲で実施形態等協議してまいりたい。



その他の質問事項

1 入札の方法について

①指名競争入札の在り方と工事に不備が生じたときの措置について

## Q: 精神障害者の交通運賃割引の要請について

A: 機会をとらえて、政府等への要請を行っていく。

大谷龍雄議員



### 河川等での水難防止対策について

**大谷** 美しい吉野川を求めて市外から多くの方が来ていただくのはうれしい事だが、水難事故に効果的な対策をしなければならぬ。水難事故防止対策の啓発の看板は立てていただいているが、大きさはほしい1m四方でごみ持ち帰り啓発の垂れ幕は8から9mの大きなものを掛けていただいている。水難事故防止対策の啓発看板も同じ大きさものを作っていたら、過去水難事故があった河川敷など、危険と思われる河川敷に設置していただくことが必要ではないか。



### 危機管理監

水難防止対策

として、広報による注意喚起、奈良県広域消防組合五條消防署と危機管理課の連携を図り、河川にいるグループごとに気象・増水等の情報提供や飛び込み行為の自制などの各河川巡視を行った。

また、奈良県防災航空隊による吉野川上空からの防災ヘリによる広報活動も実施している。

水難事故が発生した場所への注意喚起の横断幕については、河川管理者と協議してまいりたい。

### 精神障害者の交通運賃割引を目指した政府・公共交通機関への要請について

**大谷** 精神障害者家族会連合会の要請ではJRや大手

民営鉄道・航空機等の公共交通機関における全国統一の運賃割引制度は、精神障害者は対象になっていないので、政府に要請するとともに、公共交通事業者にも要請することが必要ではないか。

### あしん福祉部長

機会を

とらえて、政府等へ要請する。



3

五條市新庁舎の耐震・利便・節約等を目指した建設について  
①効果的な免震(案)設計及び施工について

4

②整形(案)に関する市庁舎と県庁舎の配置について  
災害被害防止対策について

5

①豪雨・強風・熱波等の原因になっている地球温暖化防止に関する安倍政権への要請について  
②五條市上流等のダム緊急放流防止対策とダムの耐震照査について  
核兵器禁止条約採択への参加と北朝鮮問題に対する対話姿勢に関する安倍政権への要請について

その他の質問事項  
1 児童・生徒のいじめ・不登校等を解決する学校教育と取組について  
2 クリーン・オアシスのひび割れ問題の徹底した原因究明と経過観察とかし担保期間の延長について





## Q: ドクターヘリの今後の整備について

A: 今後増設を考え、新たな候補地 20 か所を調査し、場所の整備も検討してまいります。

養田全康議員

### ドクターヘリの運用について

**養田** 現在の運用件数や着陸場所の地区別数、また緊急性が高い場合は事故現場に直接着陸もできるとのことだがそのような事例はあるのか。

**危機管理監** 今年3月21日に運行開始後8月末までの出動件数は168件で五條市は22件となっている。また着陸場所は市内11箇所、五條地区6箇所、西吉野地区3箇所、大塔地区2箇所、事故現場に直接着陸したことはない。

**養田** 少しでも事故現場に近いところに着陸できることが必要と感じる。11箇所から増やすことはできないのか。

また地上サポートが必要な着陸箇所が多いと思うが今後の整備は。

**危機管理監** 今後増設を考えてまいります。まず新たな候補地20箇所を調査し、場所

の整備も検討してまいります。

**養田** 山間部ほどドクターヘリが有効と考えるので整備検討をお願いする。

### 当市における新規起業への支援体制について

**養田** 奈良県は県外就業率が29・9%で全国ワースト一位と残念な結果であるが、五條市における新規起業数と廃業者数、起業相談数について尋ねる。

**産業環境部長** 五條市商工会での起業把握が過去4年間で3件、奈良県よろず支援拠点で3年間で3件である。五條市での相談数は2年で5件、廃業数は約4年間で90件である。

**養田** 4年で90件もの廃業者がある現状を踏まえ、今後の課題をどのように捉えているのか、早急に五條市でニーズを調査し支援体制を構築する必要があると思うが対策について尋ねる。  
**産業環境部長** 新規起業よる廃業が圧倒的に多い現状

を踏まえ、活性化を図るために部内で協議し、①起業

者への資金融資に対する利子補給等の助成、②市のホームページの充実と商工会と広く連携した情報発信、③年間の起業希望アンケートの実施、④起業に向けたセミナーの開催、⑤各公的機関や金融機関と連携を図り情報提供ができる取組の5つの支援施策を検討した。

**養田** 五條市が新規起業者に対しての一番の受皿になれるよう取組をお願いする。

### 当市におけるソフト事業について

#### (保育料について)

**養田** 当市の保育料は他市と比べ高額なのか、また本市独自の補助施策はあるのか。以前から提案している人口増加や子育てしやすい環境に向け他市に先駆けた保育料の無償化施策の検討について尋ねる。

**あんしん福祉部長** 他市に比べ低額だが、単独補助は

ない。本市の厳しい財政状況を鑑み国の財源確保を待つて進むことが望ましいと考える。

**養田** 他市では子育て世代に補助を出すことで人口増加している市町村が数多くある。独自支援できるように検討願いたい。

#### (シングルマザーについて)

**養田** 全国的に母子・父子家庭が増加傾向にあるようだが、五條市においての実態・所得調査は行っているのか、また独自のサポート施策があるのか尋ねる。

**あんしん福祉部長** 所得調査は県が行っているが、市での実態調査や独自の施策はない。

**養田** 母子・父子家庭の子どもたちにサポート体制を整える必要があると考える。独自の施策の検証をお願いする。

その他の質問事項

- 1 介護タクシーについて
- 2 障害者の支援体制について



## Q: 学校適正化による児童・生徒の送迎について

A: 運行コースについては児童・生徒数と地域の状況を見ながら設定してまいります。

福塚 実議員

### 五條市学校適正化について

**福塚** スケジュールの現状は。

**教育部長** 市民の皆様のご貴重な意見をお聞きしながら理解を深めてもらうため基本計画策定期を1年間延長し、1月から4月に保護者、7月から8月にかけて地域住民も対象とした意見交換会をそれぞれ12回、9回開催、意見を集約し検討を行い年度内に五條市学校適正化基本計画として提示する予定である。

**福塚** 今の段階では、理解ができていないと思うので、不安や心配を軽減できるように、保護者・地域の意見を聴きながら取り組んでいきたい。

地域によっては、児童・生徒の朝夕の送迎が保護者の大きな課題となるが、コミュニケーション等段階的な取組については。

**教育部長** 今後統合される学校までの通学距離が、小

学校は3km、中学校は6kmを基準としてスクールバスの運行を予定、運行コースについては幹線道路を中心に児童・生徒数と地域の状況を見ながら設定してまいります。

**福塚** 中山間地域と密集地では送迎の手法が変わるなど不安があるので、保護者に対しては早期に説明できるようにお願いする。

学校適正化が完了するまでの間のクラブ活動の充実についての取組は。

**教育部長** 現在市内中学校では、野球部・サッカー部がそれぞれ1チームが合同で活動しているが、引退や加入による増減のため合同チームの編成は流動的で、休日等の練習は自転車移動や保険加入の上教員が送迎保護者が迎えに来ることもある。公式試合ではマイクロバス等の特別運行を利用しているが、平常時の利用は困難である。

### 福塚 指導方針の徹底や連携などを行い、試合に臨めるように負担のないよう工夫をお願いする。



### 新庁舎建設について

**福塚** 場所や規模等も含め周辺道路整備が大きな課題であるが、進捗状況は。

**都市整備部長** 旧岡中線の工事は下水道管が11月、上水道・ガス管が30年2月・3月に完了、暫定拡幅工事は3月着手予定、岡口3号線は権利者全員への道路計画説明が終了し今後説明を行う予定、須恵1号線・国道310号からのアプローチ道路は市の財政状況も踏まえ検討してまいります。

**福塚** 市民からの不安の声が大きいため、市民に負担

のないような形での進捗をお願いする。

工事車両は本陣交差点から進入するのか尋ねる。

**都市整備部長** 紀陽銀行横の須恵4号線を工事進入路として予定しているが、本陣交差点信号現示について警察との協議・調整を行っており、9月下旬に説明会を予定している。今後地元と協議し協力と理解を得て進めてまいります。

### 京奈和道に伴う五條市の取組について

**福塚** 京奈和自動車道御所区間の開通で、五條市は通過点になってしまおうのではとの声があるが。

**都市整備部長** 五條インターチェンジ周辺を中南和・五條の玄関口ゾーンとして位置付け、基本計画の素案作成に取り組んでおり、五條市はオンリーワンを目指していきたいと考えている。

**福塚** 早急にしっかりと取り組むようお願いする。